



熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市中央区上通町 2-3 びふれす熊日会館3F
Tel. 096-278-7500 www.camk.jp

開館時間 | 10:00-20:00 (入場は19:30まで)

休館日 | 火曜日 (ただし5月5日(火・祝)は開館し、7日(木)は休館)

観覧料 | 一般 1,500(1,300)円、シニア 1,200(1,000)円、学生(高校生以上)1000(800)円、中学生以下無料

*各種障害者手帳をご提示の方と付き添いの方1名無料(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳など)

*()内は前売/20名以上の団体/電車・バス1日乗車券、JAF会員証、緑のじゅうたんサポーター証/美術館友の会証をご提示の方

*うまかむパスポートをご提示の方は無料

主催/秀島由己男展実行委員会 (熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団、RKK 熊本放送)、熊本日日新聞社 後援/熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本国際観光コンベンション協会、NHK 熊本放送局、J:COM 熊本、エフエム熊本、FM791 特別協力/和木町

戦後日本版画の重要作家のひとり、熊本県水俣市出身の画家・版画家の秀島由己男(1934-2018)の、四半世紀ぶりの大回顧展を開催します。

貧しい家庭に生まれ、若くして両親を亡くし、中学卒業後は就職、ほぼ独学で絵画制作の技術を習得した秀島は、美術評論家の土方定一、洋画家の海老原喜之助、版画家の浜田知明、歌人の安永露子、詩人の高橋睦郎など一流の才能に認められ全国的に活躍しました。また、作家の石牟礼道子の著作の挿絵などを多く手掛け、世界観を深め合う関係でした。西洋古典絵画の高い技術に憧れ、亡くなる直前まで技術向上に熱心で、唯一無二であることを指針としていました。

秀島は、2018年に急逝し、未整理のまま残されたのは、およそ2200点の代表作とその原版、試作など未発表作品、制作のための資料、そして自己研鑽のため収集した美術・工芸コレクションでした。そのすべては、遺族により最期の居住地だった和水町に託され、2020年から5年間、当館のアドバイスと和水町との共同作業のもと調査を進めてきました。本展は、調査の成果をもとに1950年代～2010年代の秀島の画業の全貌を、和水町所蔵作品を中心に代表作・新発見の資料・未発表作品・美術コレクションを含む260点を超える出品点数で振り返ります。

また、本年は、作家デビューである初個展より60年、水俣病公認確認70年という節目でもあります。秀島の世界観を構成する一要素としての出身地・水俣についても考える機会となると幸いです。

つきましては同展について広くご紹介いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

基本情報

秀島由己男展 ダークファンタジー／ミステリアス 水俣が生んだ異才

Yukio Hideshima Retrospective: Dark Fantasy/Mysterious
The Unique Artist from Minamata

会 期：2026年4月18日(土)～6月21日(日)

開館時間：10:00-20:00(入場は19:30まで)

休館日：火曜日(ただし、5月5日(火・祝)は開館し、7日(木)は休館。)

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリーⅠ・Ⅱ

観覧料金：一般1,500(1,300)円、シニア1,200(1000)円、学生(高校生以上)1000(800)円、

中学生以下無料 *各種障害者手帳をご提示の方と付き添いの方1名無料(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等)

*()内は前売/20名以上の団体/電車・バス1日乗車券、JAF会員証、緑のじゅうたんサポーター証/美術館友の会証をご提示の方。*うえるかむパスポートをご提示の方は無料。

主催：秀島由己男展実行委員会(熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団、RKK熊本放送)、
熊本日日新聞社

後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、
熊本国際観光コンベンション協会、NHK熊本放送局、J:COM熊本、エフエム熊本、FM791

特別協力：和水町

作家プロフィール

秀島由己男 | ひでしま・ゆきお

1934年、熊本県水俣市出身（本名：秀嶋幸雄）。1950年、水俣市立第一中学校卒業。その後、水俣市立第一中学校の事務補助職員として勤務。母校の美術教師の画塾で水彩画を学びはじめる、この画塾で石牟礼道子と出会う。1957年、銅版画家・彫刻家の浜田知明に会い師事する。1966年、南天子画廊にて初個展「第1回秀島由己男個展—ペンに依る黒の歌—」。1975年、第1回「グラフィカ・クリエイティヴァ」国際版画トリエンナーレ展（ユベスキュラ、フィンランド）にて優秀賞受賞。1980年代以降、国内外で評価が高まる。1992年、三加和町（現和水町）に移住。1995年、個展「秀島由己男—魂の叫び—」展（大川美術館、群馬）。1998年、石牟礼道子の新聞連載小説「春の城」（熊本日日新聞ほか）の挿絵を手掛ける。1999年、個展「秀島由己男展」（神奈川県立近代美術館 [別館]）。2000年、個展「魂の詩—秀島由己男展」（熊本県立美術館）。2000年以降、全国各地で回顧展を開催。2014年、個展「秀島由己男 創造と探究の生者展」（熊本市現代美術館ギャラリーⅢ）で秀島の美術・工芸コレクションが初公開された。2018年、84歳で永眠。2025年度熊本県近代文化功労者。2025年度和水町町民栄誉賞。



会場構成

秀島由己男の創作活動は、様々な才能との出会い、様々な模索と挑戦を通じて発展していきました。以下の8つの章を通じて作品を紐解きます。

0. 作家の横顔
1. はじまり—水俣
2. 霊歌、彼岸花、蝶紋（1960後半-70年代）
3. 静物考（1980年代）
4. われらにさきかけてきたりしもの、風の舟（1990年代）
4-1 春の城
5. 前向きな未完と加筆（2000—2010年代）
6. 創作の舞台裏
7. 師や友との交流—海老原喜之助、浜田知明、石牟礼道子、福島次郎、画家達
8. 自己研鑽のための美術・工芸コレクション—西洋古典版画、浮世絵、現代作家

展覧会音声ガイド（有料、RKKのアプリ）

ナビゲーター：福島絵美、英語版ナビゲーター：亀山真依

関連イベント

記念講演会

①講師：西山真美（和水町教育委員会・学芸員）

日時：4月18日（土） 14：00～14：45

場所：ホームギャラリー

参加費：無料

②講師：前川清一（熊本県文化財保護審議会委員）

日時：5月9日（土） 14：00～15：30

場所：ホームギャラリー

参加費：無料

担当学芸員による30分間スライドトーク（全4回）

展示会場の章立ての順で、各章の作品の見どころを解説します。

場所：ホームギャラリー

参加費：無料

時間：すべて14：00～14：30

①1・2章：5月24日（日）

②3・4章：5月30日（土）

③5・6章：6月7日（日）

④7・8章：6月13日（土）

プレミアムコンサート「秀島由己男展開催記念 秀島由己男のせかい」

日時：5月23日（土） 13：15開場 14：00開演 16：00終演 14：00～16：00

場所：玉名市民会館大ホール

自由席：3000円（秀島展招待券付き）

I部：「秀島由己男って!？」トークショー

まさやん（タレント）x 富澤治子（熊本市現代美術館学芸員）

司会：亀山真依（RKKアナウンサー）

II部：「芸術が交錯する～魂の共鳴～山下牧子リサイタル」

山下牧子（メゾ・ソプラノ） 福島絵美（朗読） 黒葛原康子（Vn） 正源司有加（P）



まさやん



福島絵美



山下牧子



正源司有加

公式アンバサダー 亀山真依 (RKK アナウンサー)

秀島由己男さんの作品は、その世界観の奥に、
秀島さんの人生にまつわるさまざまな物語が息づいているように感じます。
私自身、同じ熊本にゆかりを持つ者として、秀島さんという人物への理解を深めながら、
私なりの視点でその魅力をお伝えしていければと思います。



亀山真依

福島絵美 (アナウンサー) による読みがたり

秀島由己男が一流の作家達と共作した詩画集などの朗読。

日時：4月29日(水祝) 14:00～15:00

場所：ホームギャラリー

参加費：無料

- ・『詩画集 彼岸花』(詩：石牟礼道子、1974年)
- ・『詩画集 われらにさきかけてきたりしもの』(詩：高橋睦郎、1997年)
- ・『春の城』より抜粋(石牟礼道子、2017年に完本出版)ほか(予定)



福島絵美

水俣病公式確認70年記念連続上映会

* 無料上映会「月曜ロードショー」(毎週月曜日 14:00～/17:00～)での特集。

プログラム

- ・「水俣一患者さんとその世界」(1971) 120分、シグロ
- ・「水俣一揆 一生を問う人々」(1973) 108分、シグロ
- ・「水俣病 その20年」(1976) 43分、青林舎
- ・「水俣の甘夏」(1984) 55分、シグロ
- ・「水俣病 その30年」(1987) 43分、青林舎+シグロ
- ・「水俣曼荼羅」(2020) 372分、疾走プロダクション

* 詳しくは当館ホームページをご覧ください。

秀島展関連 ART LAB MARKET 企画

1. CAMK ぬいぐるみお泊まり会

ぬいぐるみをお預かりし、美術館でぬいぐるみたちが過ごした様子を後日写真でお渡しします。

募集期間：4月3日(金)～4月12日(日)

* 募集期間になりましたら、webサイトに申込フォームを掲載します。

* 応募者多数の場合は抽選を行います。

お預かり日：4月26日(日)13:00～18:00

お迎え日：4月29日(水・祝)10:00～20:00

対象：1歳以上～中学生以下のお子様がお持ちのぬいぐるみ

定員：15体

参加の決定について：抽選後、参加いただく方にのみ4月15日(水)にご案内のメールをいたします。

※「gamadas@camk.or.jp」からのメールを受け取れるようにしておいてください。

写真のお渡し：撮影したお泊り会の様子の写真は、ぬいぐるみお迎え時にプリントしたものを1~2枚、
そのほかのデータを後日メールでお送りいたします。

参加に際しての注意事項 ※必ずご一読いただきご了承の上お申込みをしてください。

- ・申込者一人につき、ぬいぐるみ一体お申込みいただけます。
- ・お預かり日、お迎え日にお越しいただけない方はお申込みいただけません。
- ・ぬいぐるみの大きさは、15cm以上60cm未満といたします。
- ・参加はぬいぐるみに限ります。(人形やおもちゃは対象外です)
- ・キャラクターでもかまいません。
- ・撮影でぬいぐるみを床に置く場合がございます。汚れなどには十分気を付けますがご了承ください。
- ・撮影した写真は美術館の広報で活用させていただきます。

関連イベント「ギャラリーツアー」

ぬいぐるみお泊まり会のお迎え日4月29日(水・祝)の午前に、ぬいぐるみの持ち主を対象としたギャラリーツアー。ぬいぐるみが鑑賞した作品を中心にご紹介。

日時：4月29日(水・祝) 11:00～

場所：ギャラリーⅠ・Ⅱ

対象者：ぬいぐるみお泊まり会 参加者(任意)※最大15組

2. カラーモールを使って虫をつくろう！

秀島由己男作品に登場する虫をカラーモールで作るワークショップ。

期間：2026年4月18日～6月21日

時間：10:00～20:00

会場：アートラボマーケット

対象：どなたでも

参加費：無料

3. 紙版画でオリジナルポストカードを作ろう

身近な材料をつかって「版画」体験。

開催期間：2026年4月18日～5月20日

時間：10:00～20:00

会場：アートラボマーケット

対象：どなたでも

料金：200円(予定)

4. ステンドグラス風の蝶(虫)をつくろう！

秀島由己男の作品に登場する虫をセロファンを使ってステンドグラス風の虫を作るワークショップ。

開催期間：2026年5月21日～6月21日

時間：10:00～20:00

会場：アートラボマーケット

対象：どなたでも

料金：200円(予定)

*詳細はホームページをご覧ください。

記者発表

2026年4月17日（金）13:30～

*一般公開 2026年4月18日 10:00～

タイムスケジュール

13:00 受付開始

13:30 記者発表、内覧会開始

・会場案内（担当学芸員によるツアー形式／約30分）

・個別取材・撮影タイム（約60分）

15:00 会場クローズ

*記者発表および内覧会へご参加予定の方は事前にご一報ください。

注意事項

*作品保護のため、館内では鉛筆をご利用ください。お持ちでない方には貸出をいたします。ボールペン、シャープペンシルのご使用はお控えください。（インク、先のとがったものによる作品の破損を防ぐためです。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。）

*作品保護のため、お手回り品（リュック等）が壁や作品に触れないよう、ご注意をお願いいたします。会場でご使用にならないお荷物はコインロッカーをご利用いただくか、お預かりも出来ますのでお声がけください。

*受付にてお名刺を1枚頂戴いたします。

お持ちでない場合は芳名帳へのご記入をお願いします。

お問い合わせ先

熊本市現代美術館 学芸担当：富澤 広報担当：坂本、手嶋

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階

TEL：096-278-7500 FAX：096-359-7892 E-mail：gamadas@camk.or.jp



・美術館入口（びぶれす熊日会館3階）まで、通町筋電停又はバス停から徒歩1分です。電車通り側歩道から、エスカレーター又はエレベーターをご利用ください。

・「びぶれす熊日会館」の駐車場は、数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

広報用画像

広報用画像をご希望の方は下記内容をメールでお知らせください。

広報担当からご連絡いたします。

- ① 掲載媒体・掲載時期
- ② 希望画像 No.
- ③ ご担当者様のお名前、ご連絡先（メールアドレス等）

【使用に際しての注意事項】

* 使用目的は、本展のご紹介に限ります。本展終了後の使用は出来ません。

ご使用後は（掲載、未掲載に関わらず）画像データを削除してください。

第三者への譲渡は禁止します。

* 必ず下記の 作品キャプション・クレジットを明記してください。

* トリミング、部分使用、文字等を重ねての使用はできません。

* 再放送、転載など2次利用をされる場合には、別途申請いただきますようお願い致します。

* 基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で担当までお送りいただきますようお願い致します。

* 掲載紙・誌、同録 DVD 等を一部寄贈してください。

（WEB 媒体の場合は URL をお知らせください）

* 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は広報担当までご連絡ください。

1. 《蝶（歌画集「蝶紋」）》1977年、熊本市現代美術館蔵
2. 《霊歌 B》1986年、熊本市現代美術館蔵
3. 《霊歌〈祈り〉》1991年、和水町蔵
4. 秀島由己男（絵画・未完）石牟礼道子（詩）《月明のひがん花 森に似て地下の宴》（部分）
2013-2018年頃 和水町蔵
5. 《V（詩画集「われらにさきかけてきたりしもの」）》1997年、和水町蔵
6. 《卓上の白い静物 一もうひとつの世界―（未完）》1985-2013年、和水町蔵
7. 秀島由己男（版画）石牟礼道子（詩）《常世なる 海の幸の石ひとつ》1980年代 和水町蔵
8. 秀島由己男

画像一覧

<p>1.</p> 	<p>2.</p> 	<p>3.</p> 
<p>4.</p> 	<p>5.</p> 	<p>6.</p> 
<p>7.</p> 	<p>8.</p> 	<p>9.</p> 